

図書館情報 2019-No2

◇◇◇おすすめ本◇◇◇

図書館利用案内

開館時間 9:00～17:00（月～金）

休館日 土曜日、日曜日、国民の休日、
年末年始（12月26日～1月5日）、
夏季一斉休業期間（8月13日～16日）
※臨時に休館する場合は、その都度、掲示等でお知らせします

貸出冊数 学生5冊以内 教職員15冊以内
※雑誌の最新刊とカウンター上の図書及び辞書類は貸出不可

貸出期間 学生2週間以内 教職員1ヶ月以内



◆入館

入り口でスリッパに履き替えて入館してください。脱いだ靴は靴棚に入れるか備え付けのビニール袋に入れて持って入ってください。

◆館内閲覧

全館開架式を採用しています。図書、雑誌等は自由に書架から取り出し閲覧できます。利用後は必ず元の位置に戻してください。CD や DVD 等視聴覚資料の利用は、カウンターで申し込み、学生証を提示してヘッドホンを借りてください。

◆貸出

借りたい図書と学生証を受付カウンターで提示(または用紙に記入)してください。

◆返却

借りた図書をカウンターへ返却してください（学生証不要）。

◆学生リクエスト

図書館に置いて欲しい図書がある場合は、備え付けの「購入希望図書申込書」に記入し、リクエスト箱に入れてください。

◆図書館相互利用サービス

埼玉県内の大学・短期大学図書館の利用が可能です。カウンターで申し込み、共通閲覧証を借りてください。ただし、館内閲覧・複写のみで貸出不可です（利用日は事前に希望する館へ確認します）。

◆コピー機

セルフサービスとなっています（1枚10円）。

【館内規律】 『学生便覧』（63ページ）掲載

利用者は、館内では次の各号を守らなければならない。

- (1) 本学の学生は学生証を、本学教職員及び他の利用者は利用証（または身分証明書）を携帯し、入館時等必要に応じて提示すること。
- (2) 閲覧は所定の閲覧場所で行い、閲覧を終えたときは、速やかに資料を元の位置に戻すこと。
- (3) 所定の手続きを経ないで、図書を館外に持ち出さないこと。
- (4) 備品・設備は大切に扱い、みだりにその位置を動かさないこと。
- (5) 常に静粛にし、喫煙、飲食及び他の利用者の妨げとなる行為をしないこと。
- (6) その他、館内の掲示及び館員の指示に従うこと。



トピックス

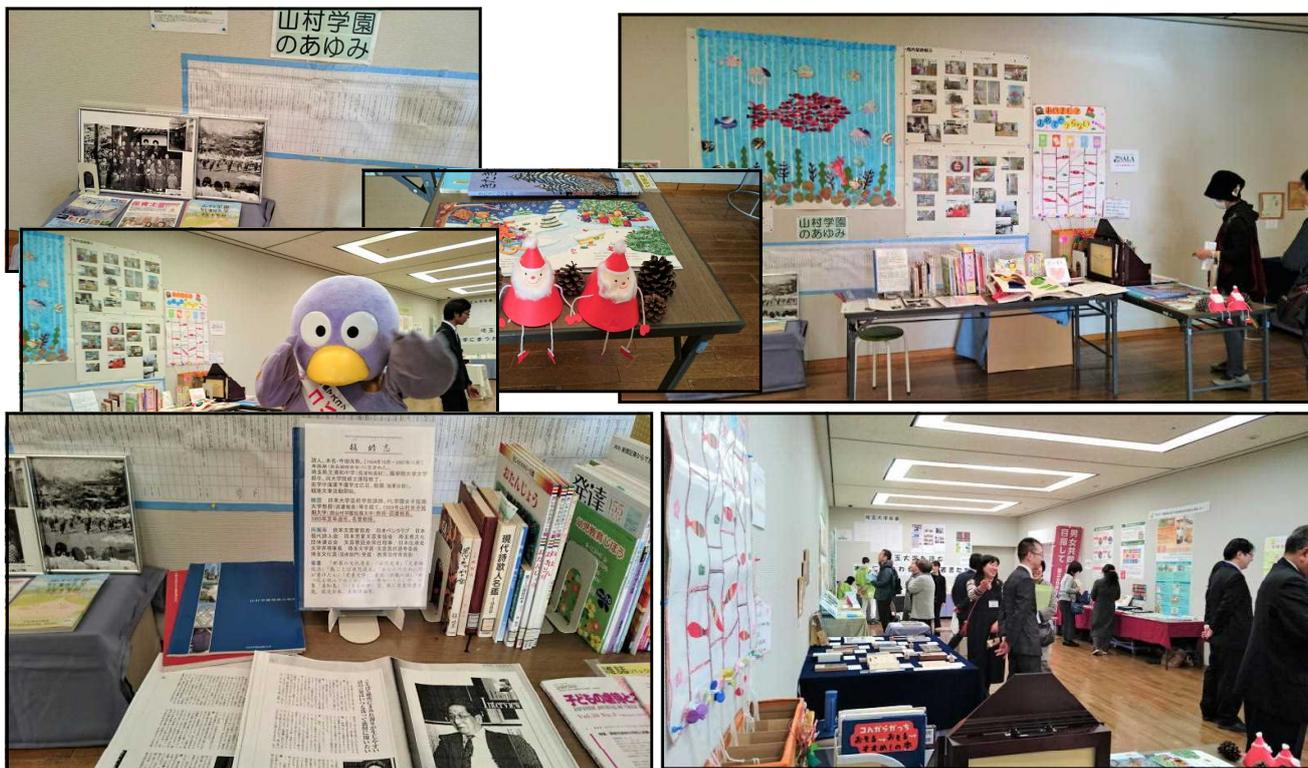
今年もお正月あみだくじ占いを展示しています（2020年改訂版）。ぜひ挑戦してみてください。



←好きな絵柄を選んであみだくじを辿り下の箱からカードを引いてください。今年の占いを見てください。
占い結果に記載されたお勧め絵本も展示していますのでぜひ読んでみてください。↓



2019年12月15日埼玉文学館(桶川)で開催された「図書館と県民のつどい」に参加しました。県内の小中高大学図書館や公共図書館が集い、人気小説家講演やビブリオバトル、スタッフリレー、ワークショップ、ゲーム等々毎年開催されています。本学は、大型絵本・紙芝居、布絵本、装飾展示、沿革等を紹介しました。短大は初参加だったそうです。スミと正月占いの展示が大好評で写真に撮る方も多数いました。〔入館者数延べ3400名〕





せんせいの オススメ本



相 沢 和 恵 先生のオススメ本

『未来のだるまちゃんへ』 かこ さとし 昨 (文春文庫)

発売年月：2016年12月刊行 660円(税別)

「だるまちゃんとてんぐちゃん」「からすのぱんやさん」「どろぼうがっこう」等、長く子どもたちに愛される絵本の作者かこさとし氏が自らの半生を振り返りどんなおもいで生きてきたかを書き綴った本。

語り言葉で優しく、時折世の中に対して厳しく、けれども子どもとの様々な関わりが明るい希望へと繋がっているはず…という内容です、読後にずっしり我が身が今どうあったらよいか考えるきっかけとなる一冊です。



今 村 麻 子 先生のオススメ本

『ベストキナーガーデン』 辻 井 正 著 (オクターブ)

発売年月：2006年11月刊行 2,800円(税別)

1年生の皆さんと「教育方法・技術論」の授業の中で、特色ある保育実践を行っている園の先生方のお話を聞きました。視野を広げて様々な保育方法を知ることは、私達の保育の引き出しを豊かにする上に異文化を知る楽しさがあります。お勧めするこの本はモンテッソーリ、シュタイナー、レッジョ・エミリアなどの海外の保育の実例をわかりやすく解説してくれています。写真も豊富です。図書館にありますので、ぜひ手にとってみてください。



室 井 佑 美 先生のオススメ本

『マンガでやさしくわかる認知行動療法』

玉 井 仁 著 (日本能率協会マネジメントセンター)

発売年月：2016年4月刊行 1,500円(税別)

「相談援助」や「子育て支援」の授業の中で、自己覚知の大切さを説明してきました。とはいえ、自分の考える癖によっては、自己覚知も冷静に捉えにくく、歪んだ捉え方になってしまう場合もあります。考える癖を知り、そこから気づける、発見する自分を見つけていける一冊です。「マンガでやさしくわかる」シリーズは心理学や経営学など、社会でちょっとした悩みに活用できて、私も読んで「なるほど!!」がたくさん詰まっています。ぜひ、手にとってみてください。



福泉 博子 先生のオススメ本

『最新現代こどもの歌1000曲シリーズ』

早川 史郎 著 (株式会社エー・ティー・エヌ)

発売年月：1986年4月刊行 2,500円(税別)

音楽・音楽表現の探求

【こどもと動物】【こどもと自然】【こどもと行事】【こどもの夢と生活】【すきなものなあに】【とびだせリズム】の全6巻。園での活動や行事に役立つ楽曲がたくさん掲載されています。弾き歌いのレパートリーは1曲でも多いほうが活動の幅が広がりますので、ぜひ活用してたくさんの歌をこどもたちと歌いましょう。



新井 英人 先生のおすすめ本 1

『母さんの「あおいくま」』 コロケ 著 (新潮文庫)

発売年月：2014年11月刊行 430円(税別)

芸人コロケの、母から教えられた心の持ち方「あおいくま」。どんな時もコロケが忘れないで心がけてきた、あせるな・おこるな・いばるな・くさるな・まけるな。貧しくても笑いが絶えない、母と姉との思い出の日々やものまねに目覚めていく10代、上京の葛藤と下積み。ものまね四天王として人気を博してからのことが素直に綴られる。大人も子どもも大切にしたいところの一冊。



新井 英人 先生のおすすめ本 2

『フィンランドの教育はなぜ世界一なのか』

岩竹 美加子 (早稲田大学客員准教授) 著 (新潮文庫)

発売年月：2019年6月刊行 780円(税別)

人口約550万人、小さな国ながらPISA(15歳児童生徒の学習到達度国際比較)で、多分野において1位を獲得、近年は幸福度も世界一となったフィンランド。その教育を我が子に受けさせてみたら、入学式も、運動会も、テストも、制服も、部活も、偏差値もなかった。小学校から大学まで無償、シンプルで合理的な制度、人生観を育む独特の授業。AI時代に対応した理想的な教育の姿を示す。

